

令和6年9月10日

児童、生徒の保護者に対する予防接種健康被害救済制度の
周知を求める請願

盛岡市議会議長
遠藤 政幸 様

請願団体 いわての子どもたちの未来を守る会
同 住所 岩手県盛岡市
代表者氏名 佐々木 公一 

請願団体 子どもの未来をつなぐ会
同 住所 岩手県盛岡市
代表者氏名 伊藤 倫子 

請願団体 岩手を支える県民の会
同 住所 岩手県盛岡市
代表者氏名 牧 一洋 

紹介議員

兼平孝信
神部伸也
縄手豊子

請願第 8 号



令和6年9月10日

盛岡市議会議長
遠藤 政幸 様

岩手県盛岡市

いわての子どもたちの未来を守る会

代 表 佐々木 公一



児童、生徒の保護者に対する予防接種健康被害救済制度の周知を求める請願

請願 要旨

2024年8月28日のNHK朝の情報番組「あさイチ」(以下あさイチ)で、ワクチンと救済制度についての放送がありました。主に新型コロナワクチン接種後の体調不良に関する事例と、健康被害に対する救済制度についての内容です。

そもそも新型コロナワクチンに限らず日本で行われている予防接種の数は多く(子宮頸がん等予防ワクチンなど)、その中で接種後体調不良を起こし、重症の場合には日常生活を送るのが困難になる事例が全国的に発生しております。

接種による健康被害は極めてまれとは言え、不可逆的に生ずるものであることは否定できません。国は接種後に健康被害が生じた場合に給付が受けられる「予防接種健康被害救済制度」を施行しておりますが、情報弱者である子どもたちはもとより、家計維持のために働いている保護者も忙しい朝に情報番組を見ているとは考えにくく、せつかくの救済制度があってもそれを知らずにいる場合がほとんどだと思われます。

あさイチ内でも触れられておりますが、新型コロナワクチンの予防接種健康被害救済制度の審査状況は11,863件(2024年8月30日時点)、その内認定7,994件(うち死亡認定777件)となっており、申請は今なお毎月200~300件ほど増えているとの事です。予防接種による健康被害は当事者のみならず、その家族にとっても大変苦しく悲しいことであり、一刻も早く救済されるべきと考えます。そのためにも十分に情報をいきわたらせることが必要であり、特に自ら情報収集・判断が困難な児童・生徒の保護者への周知は急務であると考えことから、以下について請願いたします。

請願 事項

- 1、 予防接種健康被害救済制度(以下制度)について、学校などの教育機関を通じて児童・生徒及び保護者に分かりやすく周知すること。
- 2、 広報などで、制度についての周知を行うこと。
- 3、 申請希望者に対して、分かりやすい書き方などの案内等申請手続きのサポートをすること。

以上